

## 事例 63

### タイトル： 結構です、自分のことは自分でしますから

#### ・ <事例の状況>

Aさんは市内のデイサービスを利用していたが、妄想・帰宅欲求・尿失禁と介護拒否があり下着を替えてくれず、対応が困難となっていた。約1ヵ月前より当施設(デイサービス)を利用するようになった。かつては「社会的で明るく、かゆい所に手が届く行き届いた主婦だった」と夫が話してくれた。利用初日「この男の人にコートが盗られた」という妄想が起こる。自宅では誰かがのぞいていると言いかのぞいていると家カーテンを全部閉める、息子が食べ物を盗った、という訴えがある。Aさんは自宅の風呂をのぞかれることを心配している様子で、入浴ができず自宅で週1回湯を浴びる程度である。清潔の保持が難しい現状がある。デイサービスで入浴を勧めても、「結構です。」と言って入浴しない。

#### ・ <この事例で課題と感じている点>

物盗られ妄想などがあり周囲の人とのコミュニケーションが思うようにならない。  
清潔を保つ工夫が見当たらず、家族・本人ともに困っている。  
妄想の対象者となった場合の本人へのかかわり方(家族の場合と援助者の場合それぞれに)。

#### ・ <キーワード>

余計なことをする人がいる。  
いつも誰かに見られている気がする。  
自立心・介護拒否・もの盗られ妄想。

#### ・ <事例概要>

【年齢】 70歳代後半

【性別】 女性

【職歴】 専業主婦

【家族構成】 夫と二人暮らし(近所に息子の住居あり)

【認知機能】 アルツハイマー型認知症軽度(認知症スケールの情報なし)

【要介護状態区分】 要介護2

【認知症高齢者の日常生活自立度】 b

【既往歴】 糖尿病・高血圧・ひざ痛・アルツハイマー型認知症

【現病】 糖尿病・高血圧・ひざ痛・アルツハイマー型認知症

【服用薬】 ・内科8種類

バイアスピリン、ミカルディス、アマリール、セイブル、リパロ、アダラートL、  
プレタール、アクトス

・整形外科3種類

ペオン、アシノン、ボルタレンゲル

・心療内科 3 種類

グラマール、アリセプト、マイスリー

【コミュニケーション能力】 妄想や介護拒否などからトラブルに発展しやすい反面、職員やほかの利用者には丁寧に挨拶をする。ひととおりの会話はでき理解力もある。

【性格・気質】 言葉遣いや服装はいつもきちんとしている。おしゃれ。社交的で自立心が強く自分の意志を曲げない。表情が硬く打ち解けることがない。

【A D L】 ひざ痛があり杖歩行

【障害老人自立度】 J 1

【生きがい・趣味】 父親にもらった思い出の指輪を今も大事にしている。以前は家の中のことのすべてを自分で切り盛りしていた。コーラス、クラシックの音楽が好みである。

【生活歴】 実家は商家で、貴金属を扱っていた。幼いころから長唄、三味線を習い歌が好きであった。結婚してからは専業主婦として家計を切り盛りしていた。

【人間関係】 コーラスの仲間とは今も交流がある。以前通っていたデイサービスではトラブルが続いていた。自己主張が強く、妄想などを認めてもらえない状況があると訴えが強くなり、人間関係が疎遠になっていた。

【本人の意向】 「結構です」。自分のことは自分でしたい。

【事例の発生場所】 在宅（自宅・デイサービス）